

特記仕様書

(目的及び適用)

第1条 本特記仕様書は、共通仕様書第6編16-6-13に規定されている落橋防止装置(以下装置)の取り付けについて、アンカーボルトにより装置を既設橋梁に固定する場合に適用する。

(施 工)

第2条 請負者は工事に先立ち、現地を詳細に把握するために現地調査を行い、装置を取り付けようとする、橋台、橋脚、上部工について、形状や鉄筋の位置、添架物等の状況を把握するものとする。

2 請負者は、既設構造物の鉄筋位置の確認方法については、事前に監督員と協議するものとする。

3 事前調査によりアンカー孔が鉄筋に当たる予測された場合、対処法を検討のうえ監督員と協議するものとする。

4 削孔時にドリルまたは、コアボーリングビットが鉄筋にあたった場合は、ただちに施工を中断し監督員に報告し、対処法を検討のうえ監督員と協議するものとする。

(品質・出来形管理)

第3条

下記、品質管理基準・出来形基準で施工するものとする。

(1) 品質管理基準及び規格値

工 種	試験項目・方法	規格値(mm)	測定基準
アンカーボルト(材料)	長さ・太さ	-0 +10	全数

(2) 出来形管理基準及び規格値

工 種	測定項目	規格値(mm)	測定基準
削孔工	深さ	-0 +20	全数
アンカーボルト(設置後)	長さ 超音波探傷器による測定	-20 +30	全数

・削孔工について、監督員は、全数量の50%以上、立会うものとする。

・削孔にコアボーリングビットを使用した場合は、検査確認時までコアを保存するものとする。

・超音波探傷器による試験は、(社)日本非破壊検査協会「NDISO601非破壊検査技術認定規定」により2種以上に認定された有資格者が実施するものとする。

(3) 写真管理基準

工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
アンカーボルト(材料)	長さ・太さ	現場搬入時	全数
削孔深さ	深さ	削孔完了時	立会以外全数
アンカーボルト(設置後)	超音波測定	測定実施中	各ブロックごと1回